

企業情報

シンクコンストラクション株式会社

業種：建設・土木業

従業員規模：11～50人

課題分類

業務プロセスの効率化

社内の働き方改革

顧客（取引先）との関係強化

DX実践の目的

バックオフィス

BIM導入で、作業時間の短縮や情報共有の効率化を図り、生産性136%向上！

課題内容

- 建築と設計の担当間で連携がスムーズに取れない現状があった。また、施工図・仮設計画・安全計画の作成に多くの時間を要していた。
- 建築に詳しくない施主に対して、完成イメージを元に説明ができないため、手戻りや意見の不一致が生じることもあった。

実施概要

- 建物に関する情報を一元管理できるBIM（Building Information Modeling）ソフトを導入した。導入に当たって、建築と設計の担当間で必要なデータを検討した。
- 実際にBIMデータを作成し、BIMの機能や制約を確認しながら、現場で必要とされる内容を整理し、さらに施主とイメージ共有も行った。

効果

- BIMデータを活用することで、施工図・仮設計画・安全計画の作成時間を80%削減することができた。BIMの利用全体を通して、概算で生産性が136%向上した。
- 仮設計画において、事前にデータ上で隣地との境界を確認できるため、仮設の移動などの手戻りが発生せず、スムーズに設置作業ができた。
- 施主との完成イメージの共有ができ、手戻りやトラブルの解消につながった。

苦労話

- 現場での利活用を進めるには、設計側だけでなく建築側も操作を習得することが不可欠であり、これからも個別説明や、連携のための教育に十分な時間を確保する必要がある。

ITツール

【使用ツール】 GLOBE Construction https://archi.fukuicompu.co.jp/products/globe_c/index.html

【取り扱い企業】株式会社ジツク中国

【ツール概要】 建築生産業務の効率化と合理的な施工計画を支援する国産施工BIMソフト



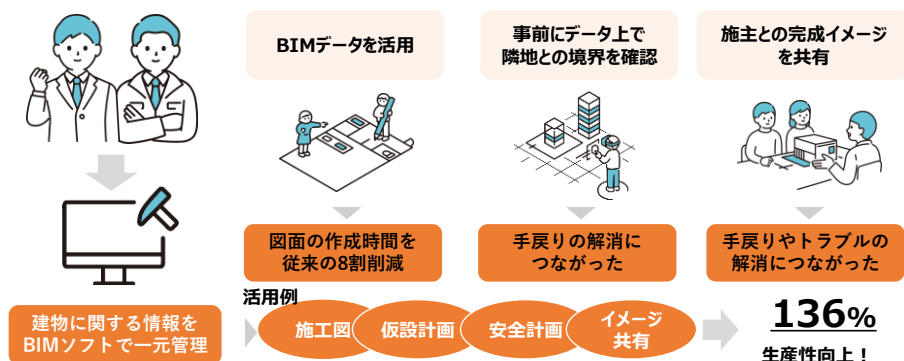
Point

- ・BIM導入で建築・設計の担当間における情報共有を効率化
- ・施工図等の作成時間を8割削減、生産性136%向上
- ・施主と完成イメージを共有し、手戻り等を解消

【導入前】建築と設計の担当間連携や施主への情報共有に課題



【導入後】BIMソフトで情報を一元管理し、作業時間を大幅縮小

BIMを活用した
情報・イメージの共有円滑な
情報共有

手戻り解消

業務効率化

補助金活用

広島県デジタルサービス活用型人手不足対策事業補助金